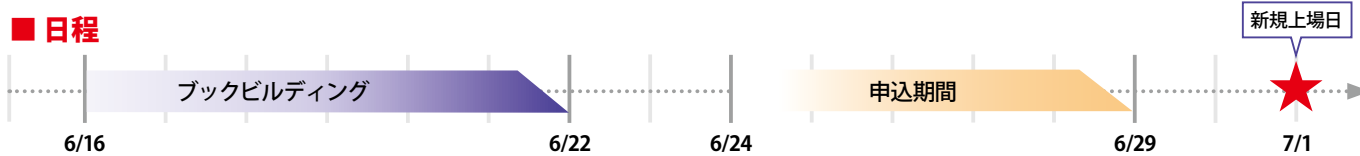


## IPO銘柄 セラク (6199・マザーズ)

コード	投資単位	公開株式数	仮条件 (上限 PER)	主幹証券
6199	100株	公募: 40.60万株 売出: 40.80万株 (OA12.21万株)	1,360円~1,500円 (14.0倍)	SMBC 日興証券



## ITインフラ事業から農業IoT関連サービスまで展開

### ■ 事業内容

IT (情報技術) インフラ事業、スマートソリューション事業、ウェブマーケティングコミュニケーション事業のほか、その他事業として農業IoT (モノのインターネット) ソリューションサービスなども手掛ける。Webサイト構築、システムの開発・運用・保守など幅広いITサービスを展開中。そのうち、農業IoTソリューションサービスでは、温室内環境遠隔モニタリングシステム「みどりクラウド」の開発、サービス提供を行う。16年8月期第2四半期累計 (15年9月~16年2月) の売上高構成比は、ITインフラ事業が58.7%、スマートソリューション事業が21.9%、ウェブマーケティングコミュニケーション事業が14.4%、その他が5%となっている。

### ■ 特徴

IT業界において人材難が問題視される中、同社は人材の確保、育成に注力。未経験者を中心に全国的な採用活動を実施し、安定的に人員を確保。さらに、独自の教育プログラムにより、未経験者でも2カ月でITエンジニアとしての就業を可能にしている。教育プログラム「セラク情熱大学」により、永続的に技術力の向上を図るほか、スキル向上とともに案件獲得にも関わり、採用、教育、営業の三位一体のモデルを構築している。

## アナリストコメント

### ■ 定量分析

16年8月期の非連結経常利益は前期比61.9%増の5億2,000万円を計画する。エンジニアの採用は予想を下回るペースだが、エンジニア1人あたりの売上、稼働率は上昇している。エンジニア不足を背景に需要は旺盛で、業績面への不安感は乏しそうだ。

### ■ 定性分析

需要旺盛なITインフラ関連のビジネスを手掛けており、高成長が期待できるビジネスモデルの案件。IPOマーケットでも人気を集めそうだ。農業IoTソリューションサービスも手掛けており、株式市場の物色テーマであるIoT関連としての顔も持つ。

### ■ 需給状況

仮条件の上限で試算した市場からの吸収金額は14億円程度。軽量級案件ではないものの、株主上位には経営者一族が並ぶ。ベンチャーキャピタル保有株もないことから、公開株式以外の株券は市場に流通しづらい構造となっており、需給面への不安は乏しい。(小泉健太)

### ■ 類似企業

セラク(6199・マザーズ)	予想PER114.0倍 (仮条件上限)
インフォメーション・ディベロップメント (4709・東証1部)	予想PER8.7倍
CAC Holdings (4725・東証1部)	予想PER14.6倍

### ■ 引受証券

SMBC 日興証券、大和証券、みずほ証券、岡三証券、エース証券、マネックス証券、SBI証券

## 業績・財務指標

	売上高 (百万円)	前年比 (%)	経常利益 (百万円)	前年比 (%)	純利益 (百万円)	前年比 (%)	EPS (円)	1株あたり 年間配当金(円)
14年8月期(実績)	3,876	28.3	252	72.4	145	86.1	58.4	6.8
15年8月期(実績)	5,340	37.8	321	27.4	212	46.2	87.1	6.8
16年8月期(会社予想)	6,500	21.7	520	61.9	312	46.8	106.9	9.3

※ 16年4月に株式分割(1株→100株)を実施。14年8月期、15年8月期のEPSおよび配当は遡及修正

	発行済み 株式総数(株)	総資産 (百万円)	純資産 (百万円)	資本金 (百万円)	BPS (円)	自己資本比率 (%)	自己資本当期 純利益率(%)
14年8月期	25,860	1,376	548	64	232.6	39.7	29.2
15年8月期	30,860	1,905	770	92	270.4	40.4	32.3

※ 14年8月期および15年8月期のBPSは遡及修正

## 大株主上位(上場前)

	氏名または名称	所有株式数(株)	所有割合(%)
1	宮崎 龍己	2,120,000	65.84
2	宮崎 浩美	396,000	12.30
3	セラク	238,000	7.39
3	宮崎	238,000	7.39
5	宮崎 仁美	48,000	1.49
5	宮崎 ひかる	48,000	1.49
5	宮崎 あゆみ	48,000	1.49
8	小関 智春	13,800	0.43
9	静永 文孝	9,200	0.29
10	米谷 信吾	7,000	0.22
10	竹野 健太郎	7,000	0.22

## 経営陣

役職	氏名
代表取締役 営業本部長	宮崎 龍己
専務取締役 執行役員 経営管理本部長	宮崎 浩美
取締役 執行役員 技術本部長	小関 智春
取締役	西村 光治
取締役	山崎 哲男
監査役(常勤)	吉本 寿樹
監査役	芹沢 俊太郎
監査役	勝呂 和之

# モーニングスターIPOレポートの読み方

## 特 徴

モーニングスター IPO<sup>(※1)</sup> レポートでは、日本国内の取引所に新たに上場する銘柄を取り上げ、モーニングスターが位置する中立的な第三者としての立場から IPO に関する情報を提供いたします。ブックビルディング<sup>(※2)</sup> が始まる前にレポートを提供することにより、IPO への参加を検討している投資家にとって有用な情報となるでしょう。モーニングスター IPO レポートには、企業名・コード・公開株式数など基本情報やブックビルディング期間・申込期間など IPO 日程のほか、モーニングスターの担当アナリストによるコメントを掲載いたします。

※1 IPO (Initial Public Offering) : 新規株式公開。

※2 ブックビルディング : 引受証券会社が機関投資家などの意見をもとに決定した仮条件を投資家に提示し、投資家の需要がどの程度あるかを把握することによって、マーケットの動向に即した公開価格を決定する方法。一般的に需要積み上げ方式と呼ばれる。

## 項目説明

### ■ 事業内容

新規上場する企業の事業概略を解説します。主要製品やサービスのほか、セグメント別の売上高構成比率などを記載。新規上場時の事業の状況や、先行きの見通しなども交えて分かり易くお伝えいたします。

### ■ 特徴

新規上場企業の設立経緯から現在の事業環境、ビジネスモデルや事業の強み、顧客動向、業績内容、海外展開、経営陣など様々な観点から特筆すべきエッセンスのみを抽出し、掲載いたします。

### ■ 定量分析

新規上場時に開示される前期、前々期の業績実績と今期の会社計画を用い、業績の成長性や収益性、財務安定性の面から新規上場銘柄を分析いたします。

### ■ 定性分析

新規上場銘柄が持つ事業の特性や事業環境、セクター動向などを踏まえ、定性的な評価をするほか、足元の株式市場の状況などを考慮して、マーケットから見た新規上場銘柄に対する見方なども掲載します。

### ■ 需給状況

公募・売り出しの株数と仮条件をふまえ、市場からの吸収金額を試算するほか、足元の新興市場の動向、類似企業の株価推移、ベンチャーキャピタルによる保有株放出の可能性なども考慮し、上場初日の需給状況を予想いたします。

### ■ 類似企業

新規上場企業と同じ業種に属する競合他社や類似企業を取り上げて PER を併記いたします。PER の水準は初値の参考指標として有効です。